



**国際フォーラム「都市化と土砂災害」**  
**2014年8月広島土砂災害と国連防災枠組みへの日本の貢献**

**主催：**特定非営利活動法人 国際斜面災害研究機構(ICL)

**共催：**国連教育科学文化機関(UNESCO)

国連国際防災戦略事務局(UNISDR)

内閣府、国土交通省、京都大学、(公社)日本地すべり学会

**日時：**平成 26 年 10 月 8 日 (水) 13:00-17:30

**場所：**京都大学北部総合教育研究棟・益川ホール

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

Tel: 075-753-5081

URL: <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/intro/facilities/kyoshokuin/hokubu/gaiyou.htm/>

**同時通訳：**13:00-15:30 は、日本語発表の英語への同時通訳

16:00-17:30 は、英語討論の日本語への同時通訳

**趣旨：**第3回国連防災世界会議(3<sup>rd</sup> WCDRR)が、2015年3月14-18日に仙台市において開催され、2015年以降の世界的防災推進のための国連防災枠組みが決定される。日本は、斜面災害危険度軽減分野において世界に貢献できる科学技術を有しており、国際斜面災害研究機構 (International Consortium on Landslides) は、国連国際防災戦略 (UNISDR) において斜面災害分野の課題別プラットフォームを担っている。本年、Post-2015年国連防災枠組みの一環として斜面災害危険度軽減研究の世界的なパートナーシップを推進するため、独立行政法人科学技術振興機構の科学技術外交の展開に資する国際政策対話の促進事業の一環として「地震・豪雨地帯の斜面災害危険度軽減に資する科学技術推進のための国際会議」(2015年3月11-15日)を企画し、その開催経費の支援を得た。来る10月7-9日にその準備会合を開催すると共にその一部として「都市化と土砂災害」をテーマに日本内外の研究者とともに研究発表と討論を行う。

**プログラム：13:00-13:40 第3回国連防災世界会議と土砂災害研究**

13:00-13:05 稲葉カヨ (京都大学理事・副学長(男女共同参画・国際・広報)) 開会挨拶

13:05-13:10 丸山秀明 (文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室)

日本の科学技術外交の推進

13:10-13:25 斉藤 馨 (内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当))

第3回国連防災世界会議と post-2015 国連防災枠組み

13:25-13:40 佐々恭二（地震・豪雨地帯の斜面災害危険度軽減に資する科学技術推進のための国際会議実行委員会・委員長）：日本の土砂災害（Landslides）研究に基づく post-2015 国連防災枠組みへの貢献

#### 13:40-15:30 2014年8月広島土砂災害の調査と解析

13:40-14:55 酒谷幸彦（国土交通省砂防部保全課砂防施設評価分析官）：広島土砂災害への対応

14:55-14:10 福岡 浩（新潟大学災害復興科学研究所・教授）：広島土砂災害の現地調査報告

14:10-14:25 高橋桂子（海洋研究開発機構地球情報基盤センター長）：72時間前雨量予測と広島土砂災害

14:25-15:40 落合博貴（森林総合研究所・企画部長）：降雨からの地下水圧の推定と広島土砂災害

15:40-15:00 佐々恭二（国際斜面災害研究機構・理事長）：高速長距離土砂流動現象の発生メカニズムと地すべり発生運動統合シミュレーション(LS-RAPID)を用いた広島土砂災害の再現

15:00-15:40 広島災害の講演に対するフロアーからの質問・討論

#### 16:00-17:30 パネル討論「post-2015 国連防災枠組への日本の貢献」

司会：Salvano Briceno（国連防災戦略事務局・前事務局長）

寶 馨（京都大学防災研究所教授、ICL 副会長）

#### パネリスト

日本政府（齊藤馨・酒谷幸彦）ほか発表者

国連教育科学文化機関

- Qunli Han（生態学および防災・地球科学部長）
- Giuseppe Arduino 水科学部国際水文計画プログラムスペシャリスト）

国連防災戦略事務局

- Feng Min Kan（アジア太平洋事務所長）
- 西川 智（Post-国連防災枠組み策定に関するアドバイザー）

京都大学

- 多々納裕一（防災研究所・教授）

国際斜面災害研究機構（ICL）

- Badaoui Rouhban（国連教育科学文化機関・前防災部長）
- Yueping Yin（中国国土資源部地質災害防止委員会・委員長）
- Claudio Margottini（イタリア地質調査所・上席研究員）
- Irasema Alcantara-Ayala（メキシコ自治大学・教授）
- Dwikorita Karnawati（インドネシア・ガジャマダ大学副学長）
- Matjaz Mikos（スロベニア・リュブリアナ工科大学・教授）
- Zeljko Arbanas（クロアチア、リエカ大学・教授）

## 参加者募集

参加費無料（どなたでも参加できます。）

定員 100名（定員を超えた場合はお断りする場合があります。）

参加希望の方は、1. 氏名、2. 所属、3. 連絡先（e-mail）を（特非）国際斜面災害研究機構事務局（[secretariat@iclhq.org](mailto:secretariat@iclhq.org)）あて10月5日までにお送りください。

### 特定非営利活動法人 国際斜面災害研究機構

〒606-8226 京都市左京区田中飛鳥井町 138-1 （一財）防災研究協会内

TEL: 075-723-0640, FAX: 075-950-0910, E-mail: [secretariat@iclhq.org](mailto:secretariat@iclhq.org)

ICL WEB: <http://icl.iplhq.org/> IPL WEB: <http://iplhq.org/>

(特非)国際斜面災害研究機構 WEB: <http://icl.iplhq.org/japanese/>

## 会場アクセス

### 京都駅から

京都駅からは、市バス17系統のご利用が便利です。京都駅烏丸口バスターミナルA2乗り場より、ご乗車ください。会場最寄りのバス停「北白川」までは約30分程度、運賃は、230円です。



# 北部構内

益川ホールは、京都大学北部構内の北部総合教育研究棟にございます。  
(北白川バス停下車徒歩5分程度)

